

# 第2回前橋トライアスロンフェスタ

## 競技規則

### 1. 競技規則総則

- 1) 本大会は、(公社)日本トライアスロン連合競技規則に準じ、本大会ローカルルールを適用します。
- 2) 競技者は、競技規則に従いスポーツマンシップをもって行動することが求められます。よって、安全性を重視し、競技規則に違反した場合、競技役員・大会スタッフ・審判等に対しスポーツマンらしくからぬ行為・言動は失格の原因となります。
- 3) 大会当日、気象条件・その他事象によりやむを得ない場合大会の中止・変更・中断の場合があります。実行委員会は競技開始 1 時間前までに中止・変更を本部前に掲示し、中断の場合審判により周知実行されます。

### 2. 競技全般規則

- 1) 大会要項・競技規則を理解し、招集時間・制限時間を厳守してください。  
**登録受付時間・スイム集合時間に遅れた場合は、出場できませんので十分注意して下さい。**
- 2) 大会登録受付・リストバンド・アンクルバンドの装着の無い場合は、出場できません。  
\*未就学児のアンクルバンド装着はありません。
- 3) 競技者は、アルコール・興奮剤・刺激物等の使用を禁止します。
- 4) 自ら競技を中断する場合は、直ちに最寄りの競技役員に申し出てください。
- 5) 審判員は、規則に違反した競技者を退場・失格させる権限を持ちます。
- 6) 競技者の体調不良・傷害・その他重大事故のおそれがある場合、医療責任者・審判員は競技を中断させることができます。
- 7) 競技者は、誤って指定のコースを離脱した場合、離脱した地点に戻って競技に復帰できます。
- 8) 競技者は、バイク・ランにおいて上半身裸で競技すると失格となります。またレースウェアを正しく着用し、ファスナーはしっかり閉めて競技を行ってください。
- 9) 競技者は、主催者から支給されるレースナンバー（ゼッケン）をバイク乗車時は背面、ラン時は前面に付けてください。ナンバーベルト（ゼッケンベルト）を使用し 1 枚を前後に回して使うこともできます。
- 10) 競技者は、主催者から支給されるナンバーシールをバイク右側面とヘルメット前面に張り付けてください。



- 11) スイム競技のみスキップ制度を採用します。(スキップとは、競技を棄権・または中断し、次の種目に継続参加できる制度) 競技者は、直ちに最寄りの審判に申し出て、待機エリアに移動してください。

- ①スキップした競技者は、最終の競技者がスイムを終了した後にバイクから競技復帰できます。
- ②スキップ競技者の計測記録は、DNF（未完走者）とされ参考記録となります。

### 3. トラジションエリア

（競技者が次の種目に移るため切り替えるエリアです）

- 1) トラジションエリアには、競技に必要な用具以外の物を持ち込むことができません。
- 2) 競技者以外の立ち入りができません。＊未就学児のみ保護者の立ち入りができます。
- 3) 指定された場所にバイク他競技用具を整理して設置してください。

①ビギナー・リレー・一般競技者は、自分のレースナンバーのラックにバイクをセッティングしてください。スタンドの利用は禁止します。



②未就学児・小学生競技者は、指定された場所にバイクを寝かせてセッティングしてください。スタンドの利用は禁止します。

- 4) トラジションエリア内でのバイク乗車はできません。
- 5) トラジションエリア内でバイクを移動させるときは、ヘルメットを装着しなければなりません。
- 6) 主催者の許可を得ずに、トラジションエリアからバイク・競技用具を持ち出すことはできません。

### 4. スイム

- 1) 競技者は、主催者から支給されるスイムキャップを着用してください。
- 2) トライアスロン用ウェットスーツの着用は、任意とします。スイムゴーグル・耳栓の使用は認めますが、パドル・フィン・シュノーケルの使用は禁止します。  
＊未就学児のみ浮き輪・ビート版・プルブイの使用ができます。
- 3) 競技者は、スターターの指示に従い一人ずつ入水し、泳ぎます。入水の際頭からの飛び込みは禁止します。
- 4) 競技者は、コースの左端を泳ぎ、追越しの際は、右側から速やかに行います。  
＊未就学児のみ保護者の介助を受けることができますが、他の競技者の妨げにならぬよう注意して下さい。
- 5) 競技者は、50m毎の折り返しでプールサイドにタッチし、次のレーンへコースロープを潜り移動します。  
（タッチターン・クイックターンでの折り返しも認めます。）
- 6) 競技者は、緊急・小休止のためにコースロープにつかまることがあります。この際は、進行左側のコースロープを利用してください。但し、コースロープを伝って前進することはできません。
- 7) スイム競技を中断する場合は、コースロープにつかまり、片手を振り意思表示をしてください。
- 8) レスチューブの利用を認めます。ただし競技中にレスチューブを使用した場合、その時点でスイム中断とな

ります。

## 5. バイク

- 1) 競技者は、バイク競技中自転車競技用ヘルメットを正しく着用してください。顎ひもは指1本が入る程度に締め、アジャスターをしっかりと閉めて緩みの無いように装着して下さい。

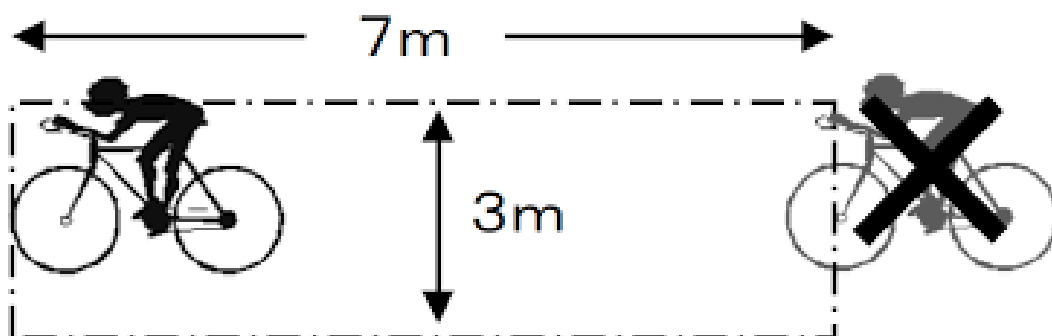
**野球・工事用ヘルメット等、自転車用硬質ヘルメット以外での参加はできません。**



- 2) 使用するバイクは、整備された自転車を使用してください。

バイク種類	ロード・ トライアル バイク	ミニベ ロバイ ク	クロス バイク	マウウ テンバ イク	シティ サイク ル	幼児用 サイク ル	ストラ イダー	三輪車
未就学児	○	○	○	○	○	○	○	○
小学生1年～6年生	○	○	○	○	○	○	×	×
ビギナー	○	○	○	○	○	×	×	×
リレー・一般	○	○	○	×	×	×	×	×

- 3) バイク乗車は、マウントライン（乗車ライン）を超えてから乗ります。バイク終了時は、ディスマウントライン（降車ライン）手前でバイクから降ります。
- 4) 走行は、左側通行を守ってください。追越しは、右側から声を掛けて速やかに行ってください。
- 5) 競技中のメカトラブルは、競技者自信で対処してください。
- 6) 一般・リレーは、敷島球場前で折り返し1周8kmコースを2周回となります。
- 7) レースナンバー（ゼッケン）は、背中に表示してください。レースナンバーベルトが使用できます。
- 8) 本大会は、未就学児を除きドラフティング行為を禁止します。ドラフティング行為とは、他の選手のバイク最前部から後方7m幅3m以内のドラフトゾーン内を走行することを言います。15秒以内の追い越し行為以外にドラフトゾーンの走行を禁止します。



## 6. ラン

- 1) 走行は、左側通行を守ってください。追越しは、右側から声を掛けて速やかに行ってください。
- 2) レースナンバー（ゼッケン）は、前面に表示してください。レースナンバーベルトが使用できます。
- 3) ビギナー・一般・リレーのランパートに限り、仮装での競技を容認します。ただし、公序良俗に反するものや他の競技者の妨げになるようなものは禁止します。
- 4) 一般・リレー部門のランは、敷島公園内から正田醤油スタジアム前で折返し2周回します。
- 5) ご家族・お友達等と一緒にフィニッシュすることが出来ます。ただし、他の競技者の妨げにならないよう注意をしてください。
- 6) フィニッシュ後にアンクルバンドを回収します。\*未就学児はありません。

## 7. リレー

- 1) 選手登録受付・競技説明会はメンバー全員一緒に行ってください。
- 2) メンバー変更を当日行う場合は、選手登録時に申し出てください。2名での参加も認めます。その場合1名が2種目を行います。\*エントリー登録している選手以外の代替出場はできません。
- 3) リレーは、足首に巻くアンクルバンドを引き継ぎます。各競技者は、競技のできる準備を整えて、スイムからバイク・バイクからランのリレーゾーンで待機・引継を行います。
- 4) フィニッシュは、できるだけチーム全員でゴールしてください。

## 8. その他

- 1) 未就学児のスイムには、保護者同伴となります。よって保護者はプールに入水できる用意をしてください。
- 2) 罰則には、指導・タイムペナルティ・失格があり、審判員により宣告されるので従ってください。
- 3) タイムペナルティは、ランコース途中にペナルティボックスを設けています。違反者掲示板に自分のレースナンバーが書かれていた場合は、必ずペナルティボックスに入り、審判の指示に従ってください。怠った場合は失格となります。
- 4) 抗議は、競技者または代理人が審判長に口頭で行うことが出来ます。ただし、ドラフティング・危険行為・スポーツマン精神に反する言動の判定には抗議できません。
- 5) その他この規定に定めのない事項については、JTUルール及び大会実行委員会の裁定により判断します。

### 参加選手の皆様へ

1. 大会前の体調管理
  - ① 大会に備え、スイム・バイク・ランそれぞれの練習をしましょう。
  - ② 過労や睡眠不足のまま参加することのないよう心掛けましょう。
  - ③ 体調不良の場合は、出場を控えましょう。
2. スイム事故防止
  - ① 大会前日の飲酒は控えましょう。
  - ② スタートの2時間前までに食事を済ませましょう。
  - ③ スタート前に陸上及びプールでのウォームアップを行いましょう。
3. 熱中症予防

- ① スタート前からこまめな水分補給をしましょう。
- ② 競技中にめまい・けいれん・吐き気等の不調が起きたら休憩または競技中断しましょう。

#### 4. スポーツマンシップ

- ① 大会要項・規則を遵守し、大会役員・審判の指示に速やかに従いましょう。
- ② 交通ルールを順守し、自転車に乗車の場合は、必ずヘルメットを装着しましょう。
- ③ 他の選手・大会スタッフボランティアに敬意を表し全力を尽くしましょう。